

第2類医薬品

[満量処方]麻黄湯エキス顆粒S

[満量処方]麻黄湯エキス顆粒Sは、漢方の古典「傷寒論」に収載されている漢方剤の「麻黄湯」から抽出したエキスを満量*配合した漢方処方です。
*満量処方とは：漢方処方より得られたエキスを全量（1日最大量）配合していることを意味します。

このような方に

- かぜのひきはじめて寒気や発熱がある方
- せきがでて体の節々の痛い感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

- 1.次の人は服用しないでください
 - （1）体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - （2）生後3ヵ月未満の乳児。
- 2.短期間の服用にとどめ、連用しないでください

🗨 相談すること

- 1.次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
 - （1）医師の治療を受けている人。
 - （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - （3）胃腸の弱い人。
 - （4）発汗傾向の著しい人。
 - （5）高齢者。
 - （6）今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - （7）次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - （8）次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感
そ の 他	発汗過多、全身脱力感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症 状 の 名 称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、 筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

- 3.1ヵ月位（感冒、鼻かぜに服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能又は効果】

体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て身体のふしぶしが痛く汗が出ていないものの次の諸症：感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり

【用法及び用量】

食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。
食間とは…食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1 包	3回
15歳未満 7 歳以上	2/3 包	
7 歳未満 4 歳以上	1/2 包	
4 歳未満 2 歳以上	1/3 包	
2 歳未満	1/4 包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

【成分・分量】

本品3包(5.1g)中、下記の生薬より抽出した麻黄湯エキス1.92gを含有します。
日局マオウ ……………5.0g 日局キョウニン ……………5.0g
日局ケイヒ ……………4.0g 日局カンゾウ ……………1.5g

添加物として乳糖水和物、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、D-マンニトールを含みます。

〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスをを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限のすぎた製品は服用しないでください。
- (5) 1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。



本品についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

御所薬舗株式会社 お客様相談室

住 所：〒639-2200 奈良県御所市1207番地

電 話：0745(62)3388

受付時間：午前9:00から午後5:00まで（土・日・祝日を除く）

製造販売元

御所薬舗株式会社

奈良県御所市1207番地